

チョウ・マップ（白鳥庭園）

チョウは、樹林のふちなどの **陽だまり** を好んで飛びます。

幼虫のエサとなる草木の若葉（**食草**）に卵を産み、花や樹液（**蜜源**）で吸蜜します。羽化直後には、濡れた地面で **吸水** する光景も見られます。

池の西岸 ♪ 個体数が最も多い

水琴窟前の日当たりよい低木帯&草地。
ミニ・パタフライガーデン化の実験中。
(蜜源のリレーをつなぐ♪)



- ★カタバミ (4-10月): ヤマトシジミ。
- ア ノアザミ (5-7月): ツマグロヒョウモン、ナミアゲハほか各種のチョウ。
- ヤ ヤブカラシ (7-9月): アオスジアゲハ、ナミアゲハ。
- ♥ ハギ (9月): ウラナミシジミほか各種。
- ★ ヒガンバナ (9月): ナミアゲハ。
- フジバカマ (9-10月): ツマグロヒョウモン、アサギマダラほか各種。
- ツ ツワブキ (10-12月): キタキチョウほか各種。

梅園 ♪ 個体数が二番目に多い

築山の裾のちょっと開けた里地的空間。
鳥との生存競争はなかなか厳しい。

- ★カタバミ (4-10月、ウメの根元): ヤマトシジミ。
- シ シャリンバイ (5月): アオスジアゲハなどアゲハ類。
- ソ バ (7-8月): モンシロチョウ。
- ミカン類: 葉がアゲハ類の食草=幼虫のエサ。
(幼虫は、羽化する前に鳥に食べられてしまう)
- スミレ: 葉がツマグロヒョウモンの食草=幼虫のエサ。(同上)
- アブラナ: 葉がモンシロチョウの食草=幼虫のエサ。

北門周辺 ♪ 日当たり良好

池の東岸・北岸 ♪ 木漏れ日やさしい園路

庭園外周を縁取る植栽帯 は
森林性のチョウの食草や蜜源の帯。

- 主木: クスノキ (アオスジアゲハの食草)
- 生垣: アラカシ (ムラサキシジミの食草)
- 低木: ● ツツジ (アゲハ類の蜜源) など

- セ センタン (5-6月):
アオスジアゲハ、ナミアゲハ。
- ♥ ハギ (9月): ヤマトシジミ、イチモンジセセリ。

秋になると…
ウラギンシジミが、木立の周りを飛び回る。
東岸の樹陰（せせらぎ脇）では…

テングチョウ、
ルリタテハ、
ゴマダラチョウ、
ムラサキシジミなど
森林性のチョウを
見つけることができ



ゴマダラチョウ



食草 (幼虫のエサ)

- クス、カシ、シイ
- ミカン科
- ♥ ネムノキ
- ♥ フジ
- ◀ スミレ
- ★ ホトトギス
- ◆ サルトリイバラ
- △ ススキ

蜜源 (成虫のエサ)

- ツツジ類
- タンポポ
- ソバ
- ヤ ヤブカラシ
- ア ノアザミ
- オ オミナエシ
- セ センダン
- ★ オニユリ
- フ フジバカマ
- シ シャリンバイ
- ★ ヒガンバナ
- ツ ツワブキ

チョウの好きな陽だまり



ナミアゲハ幼虫

白鳥庭園では、2022年の定例観察日に17種のチョウを確認しました。定例観察日以外の確認7種、他の年の確認8種と併せると累計32種です。

白鳥庭園 2022			越冬	合計	季節別											地区別																		
					3月	4	5	6	7	8	9	10	11	梅	池の	池の	池の	池の	清	芝	大													
種数(累計32種)				17	★7	★8	3	5	5	6	6	7	4	6	5	8	8	10	5	6	5	5	7	8	9	5	5	8	7	6	4			
個体数				397		18	33	16	23	16	39	4	21	17	24	38	59	22	36	16	15	37	31	131	40	25	41	26	49	17				
アゲハチョウ科	アオスジアゲハ	サナギ	88			17	5	6	3	16	1	6	3	10	11	9	1	★	★															
	ナミアゲハ		36	★	2	10	2	2	3	3	1	2	★	1	6	3	★	★	1															
	クロアゲハ		10			4	2	★	★	3	★	★	★	1																				
	ナガサキアゲハ		★			★	★	★		★	★	★																						
	モンキアゲハ		★					★																										
	キアゲハ		★																															
タテハチョウ科	テングチョウ	成虫	1	★			★	1	★							★	★																	
	ルリタテハ		★			★										★	★																	
	クロコノマチョウ		★																															
	キタテハ		★																															
	アカタテハ		★																															
	ヒメアカタテハ	幼虫	★																															
	ツマグロヒョウモン		30			★	3	3	1	4	1	4	★	2	4	1	★	4	2	1														
	ヒメウラナミジャノメ		★																															
	ゴマダラチョウ		★			★			★		★	★				★	★																	
	アサギマダラ*		★					★									★	★	★	★														
	ミドリヒョウモン		★															★																
ホシミスジ		★																																
シロチョウ科	キタキチョウ*	成虫	37	★	9	★			★	★	★	★			★	3	2	14	4	5														
	モンシロチョウ	サナギ	21	★	4	★	4	8	2	3	★				★	★	★	★	★															
	モンキチョウ	幼虫	1		★	1	★	★																										
シジミチョウ科	ウラナミシジミ*	成虫	5													★	1	2	★	1														
	ウラギンシジミ*		16										2		2	5	★	4	1	★														
	ムラサキシジミ		12	★	★	★			2	1	★	★	3	1	2	1	★	★	1	1														
	ムラサキツバメ		1										★	★																				
	ルリシジミ	サナギ	2						★		1		1																					
	ヤマトシジミ*	幼虫	96	★	3	1	★	3	5	9	★	6	8	5	8	15	9	11	6	7														
	ツバメシジミ		2						★	★		★	★			1	1		★															
クロマダラソテツシジミ		★																																
セセリチョウ科	イチモンジセセリ*	幼虫	38					★				1	2	1	4	20	9	1	★	★														
	チャバネセセリ*		1													★	★	1	★	★														
	キマダラセセリ		★					★																										

◆種数・個体数の推移

種数	2018	2020	2021	2022
種数	18	17	17	17
個体数	232	281	366	397

ヤマトシジミ 76/ 56/ 123/ 96
 アオスジアゲハ 54/ 118/ 84/ 88
 ナミアゲハ 25/ 23/ 24/ 36
 ツマグロヒョウモン 8/ 17/ 27/ 30
 キタキチョウ 4/ 25/ 35/ 37
 モンシロチョウ 7/ 14/ 22/ 21
 イチモンジセセリ 7/ 38
 大刈込前 25/ 27/ 23/ 17
 芝生広場 30/ 28/ 26/ 49
 清羽亭 25/ 25/ 26
 池の東岸 19/ 24/ 28/ 41
 北門付近 13/ 27/ 20/ 25
 池の北岸 24/ 23/ 19/ 40
 池の西岸 54/ 82/ 122/ 131
 溪流付近 8/ 17/ 26/ 31
 梅林 40/ 47/ 67/ 37

▶ 2022年は、夏日の続く4月、猛暑の6月後半および7月末～8月初、一転して9月末まで続く長雨など天候不順でした。
 ▶ 確認個体数は過去最高。梅雨時～夏場の蜜源補強により、季節的な個体数落ち込みもほぼ解消（少ないのは雨・曇天）。
 ▶ イチモンジセセリが（北岸・北門を中心に）爆増し、ナミアゲハ、ムラサキシジミ、クロアゲハも各所で増加する一方、ヤマトシジミは（主に梅林で）減少しました。
 ▶ 地区別では、西岸が2021年以降大きく増加（和風バタフライガーデンづくりの成果）。梅林ではアゲハ類は堅調ですが、ヤマトシジミ（梅の木下のカタバミ依存）が前年に比べて大きく減少。北岸ではイチモンジセセリ（ハギで吸蜜）が増加。

* 秋に多い。 数字：定例観察日の確認個体数。 ★ 定例観察日以外に確認実績あり（2022年） ☆ 他の年の同様の時期に確認実績あり